

令和元年度横浜市強度行動障害支援力向上研修【実践研修】

(強度行動障害支援者養成研修【実践研修】) 募集案内

横浜市強度行動障害支援力向上研修【実践研修】は、強度行動障害支援者養成研修【実践研修】としても位置付けられた研修であり、次により実施します。

令和元年8月8日(木)～令和元年8月9日(金) 2日間

定員：100名

会場：横浜市技能文化会館

カリキュラム・申込方法など詳細については、下記「令和元年度横浜市強度行動障害支援力向上研修【実践研修】(強度行動障害支援者養成研修【実践研修】)実施要領」をご覧ください。

.....

令和元年度 横浜市強度行動障害支援力向上研修【実践研修】

(強度行動障害支援者養成研修【実践研修】) 実施要領

1 目的

行動障害を有する者のうち、いわゆる「強度行動障害」を有する者は、自傷、他害行為など、危険を伴う行動を頻回に示すことなどにより、日常生活に困難が生じているため、現状では事業所での受入れが消極的であったり、身体拘束や行動制限などの虐待につながったりする可能性も懸念されるところです。

一方、障害特性の理解に基づく適切な支援を行うことにより、強度行動障害が低減し、安定した日常生活を送ることができることが知られています。

このため、強度行動障害を有する方に対して、適切な支援計画を作成することが可能な職員の育成を目的とする研修を実施します。

なお、本件研修は神奈川県より「強度行動障害支援者養成研修(実践研修)」として指定を受けた研修となっています。

2 日程・会場・研修カリキュラム等

別紙 「横浜市強度行動障害支援力向上研修【実践研修】カリキュラム」 参照

3 定員

100名

4 受講対象者

次の（１）から（４）の要件を全て満たす者

- （１）横浜市内に所在する障害福祉サービス事業所等において、知的障害、精神障害のある児者を支援対象にした業務に従事している者、もしくは今後従事する予定のある者。
- （２）２日間全ての日程を受講できる者
- （３）所属している法人の推薦を受けた者。
- （４）強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）、もしくは重度訪問介護従業者養成研修行動援護支援課程を修了した者。

※令和元年7月3～4日開催予定の「平成31年度第1回神奈川県強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）」の受講決定を受けた方も申し込みができます。修了後すみやかに、修了証書の写しを送付してください。なお、上記基礎研修を修了できなかった場合には、本研修の受講はできません。

5 受講者の推薦・申込み

（１）推薦・申込みについて

- ・ 別紙「横浜市強度行動障害支援力向上研修【実践研修】受講推薦及び申込書」に必要事項を記載の上、「申込書類確認書」を添えて法人でまとめて申込み（送付）ください。
- ・ 4の（４）の修了証書の写しを添付してください。添付されていない場合は、受講できません。（「平成31年度第1回神奈川県強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）」受講予定者の場合は、受講決定通知書の写しを添付してください。）
- ・ 申込書の法人内優先順位は必ず記載ください。法人内優先順位が未記載の場合や不適切な記載の場合（法人内優先順位1位が複数いる等）については、受講を見送りとさせていただきます。

（２）申込様式 別紙様式

※ ウェブサイト「障害福祉情報サービスかながわ（URL：<http://www.rakuraku.or.jp/shienhi/>）」の「書式ライブラリ」→「2. 横浜市からのお知らせ」→「8 研修・説明会等【横浜市】」に掲載します。

（３）返信用封筒の同封（受講決定等の通知に使用）

- ・ 定形郵便用封筒（長形3号：A4版用紙三つ折りが入るサイズ）を使用してください。
- ・ 140円切手を貼付してください。
- ・ 法人代表者宛てに宛名を記入してください。（宛名は〇〇御中又は〇〇様としてください。）

（４）申込方法 郵送

※ ファクシミリ、電子メール及び電話による申込は受け付けません。

(5) 申込期限 令和元年7月2日(火) (必着)

(6) 申込先 〒231-0047

横浜市中区羽衣町2-4-4 エバース第8関内ビル5F

横浜市発達障害者支援センター 研修担当

※お手数ですが、封筒表面余白に「横浜市強度行動障害支援力向上研修
申込書在中」と記載願います。

6 受講者の決定

- 定員を大幅に上回った場合は、推薦された方の中から、法人内優先順位等を勘案し、申込の内容を審査した上で決定します。(先着順ではありません。)
- なお、「行動援護従業者養成研修」及び「重度訪問介護従業者養成研修行動援護支援課程」を修了していない方を優先して選考対象とします。
- 強度行動障害を有する方の支援に関する相談業務に従事している一次相談支援機関・二次相談支援機関の方も優先して選考対象とします。
- 行動援護業務に従事している方や従事しようとする方は、「行動援護従業者養成研修」の受講をご検討ください。
- 強度行動障害を有する方の適切な支援計画を作成できる職員を養成するための研修ですので、実務経験も考慮のうえ選考します。
- 受講決定については、7月16日頃までに各法人あてに通知をまとめて送付します。

7 修了証書の交付、修了者名簿の管理

- 本研修の全日程(2日間)を修了した方に、強度行動障害支援者養成研修【実践研修】修了証書を交付します。
- 本研修の修了者は、強度行動障害支援者養成研修【実践研修】の修了者名簿(修了証書番号、氏名、生年月日、所属等)として神奈川県に報告します。

8 受講料及び資料代

受講料は無料です。ただし、受講に必要な教材費等 2,600円は、受講者負担とします。(支払方法等詳細は、受講決定通知とともにご案内します。)

※ 会場までの交通費その他についても、受講者負担とします。

9 その他

- 遅刻及び早退は欠席とみなします。修了証書を交付できませんので、ご注意ください。通勤時間帯による混雑や天候等を考慮の上、余裕を持ってご来場ください。
- 著しく受講態度が悪く(私語、居眠り、携帯電話の使用等)、繰り返し注意された方には修了証書を交付できませんので、ご注意ください。
- 受講にあたり、手話通訳、点字教材、身体障害者用駐車場等を必要とする方は、受講申込書の所定欄に記載してください。
- 来場の際は、公共交通機関を利用してください。

(参考情報) 令和元年度横浜市強度行動障害支援力向上研修【基礎研修】実施予定
(変更になる可能性があります)

- ・第1回 令和元年10月28日(月)～10月29日(火)
定員:120名 会場:横浜市技能文化会館 8月8日から募集開始予定
 - ・第2回 令和元年12月5日(木)～12月6日(金)
定員:120名 会場:横浜市技能文化会館 10月11日から募集開始予定
 - ・第3回 令和2年2月6日(木)～2月7日(金)
定員:120名 会場:横浜市技能文化会館 12月9日から募集開始予定
- ※今回募集分ではありませんのでご注意ください

10 研修に関する問合せ先

(本研修の申込手続き・実施等に関する問合せ先)

横浜市社会福祉法人横浜やまびこの里 横浜市発達障害者支援センター
〒231-0047 横浜市中区羽衣町2-4-4
エバース第8 関内ビル5F
電話 045(334)7320
ファクシミリ 045(334)8619
研修事務局 西尾・宇山

(本研修に関する問合せ先)

横浜市健康福祉局障害企画課
〒231-0021 横浜市中区日本大通18KRCビル6階
電話 045(671)3604
ファクシミリ 045(671)3566
田辺・森山

横浜市強度行動障害支援力向上研修【実践研修】カリキュラム

科目名	時間数	内容		講義名
I 講義	5.0H			
1 強度行動障害のある人へのチーム支援	2 H	①強度行動障害支援の原則	<div>チームによる支援の重要性</div> <div>地域で強度行動障害のある人を支える</div> <div>支援の6つの原則</div>	行動障害のある人の暮らしを支えるために 2H
2 強度行動障害と生活の組み立て	3 H	②行動障害のある人の生活と支援の実際	<div>行動障害のある人の家族の思い</div> <div>日中活動場面における支援</div> <div>夕方から朝にかけての支援</div> <div>外出場面における支援</div>	<div>家族の思い 1.5H</div> <div>行動障害のある人の生活と支援 1.5H</div>
II 演習	8.5H			
1 障害特性の理解とアセスメント	2.5H	①障害特性とアセスメント	<div>障害特性の理解</div> <div>障害特性に基づくアセスメント</div> <div>行動の意味を理解する</div>	<div>適切な支援を組み立てる（予防モデル）－行動のアセスメント－ 2H</div> <div>行動上の課題に対応する（行動障害対応モデル） 1 0.25H</div> <div>行動上の課題に対応する（行動障害対応モデル） 2 0.25H</div>
2 環境調整による強度行動障害の支援	3.5H	②構造化の考え方と方法	<div>強みや好みを活かす視点</div> <div>構造化の考え方</div> <div>構造化の方法</div>	<div>適切な支援を組み立てる（予防モデル）－支援計画シートの作成－ 2H</div> <div>行動上の課題に対応する（行動障害対応モデル） 1 0.75H</div> <div>行動上の課題に対応する（行動障害対応モデル） 2 0.75H</div>
3 記録に基づく支援の評価	1 H	③記録の収集と分析	<div>行動の記録の方法</div> <div>記録の整理と分析</div> <div>再アセスメントと手順書の修正</div>	<div>行動上の課題に対応する（行動障害対応モデル） 2 1H</div>
4 危機対応と虐待防止	1.5H	④危機対応と虐待防止	<div>危機対応の方法</div> <div>虐待防止と身体拘束</div>	危機対応と虐待防止 1.5H
合計	13.5H			

令和1年度 横浜市第1回強度行動障害支援力向上研修（強度行動障害支援者養成研修【実践研修】）スケジュール

会場：横浜市技能文化会館 2Fホール

日程	時間	配分	種別	講義名	内 容	講 師（敬称略）
1日目 8月8日 （木）	9：10～9：25			受付		事務局
	9：25～9：35			開会	開会あいさつ・ガイダンス	横浜市／事務局
	9：30～11：00	90分	講義	行動障害のある人の暮らしを支えるために①	地域で強度行動障害の人を支えるチームによる支援の重要性	三河 直樹 同愛会
	11：00～11：10		休憩			
	11：10～11：40	30分	講義	行動障害のある人の暮らしを支えるために②	支援の6つの原則	金子 浩崇 横浜やまびこの里
	11：40～12：40		休憩			
	12：40～14：40	120分	演習	適切な支援を組み立てる（予防モデル） 行動のアセスメント	障害特性の理解 障害特性に基づくアセスメント 行動の意味を理解する 自閉症の行動特性シートの説明・記入 行動特性の基になる認知特性シートの説明・記入	金子 浩崇 横浜やまびこの里
	14：40～14：50		休憩			
	14：50～16：50	120分	演習	適切な支援を組み立てる（予防モデル） 支援計画シートの作成	強みや好みを活かす視点 支援計画シートの作成 発表・まとめ	金子 浩崇 横浜やまびこの里
	16：50～17：00		休憩			
	17：00～18：30	90分	講義	行動障害のある人の生活と支援	日中活動（生活介護など）における支援の実際 暮らしの場（家庭やGHや施設など）における支援の実際 外出（行動支援など）における支援の実際	加藤 惟子 横浜やまびこの里 浪越 由理 すみなす会 北村 洋子 横浜共生会
	18：30～18：35			事務連絡		

日程	時間			講義名	内 容	講 師（敬称略）
2日目 8月9日 （金）	9：00～9：15			受付		事務局
	9：15～10：45	90分	講義	家族の想い	家族の気持ち「わが子は自閉症」	中野 美奈子 三好 靖子 平下 和子 横浜市自閉症協会
	10：45～10：55		休憩			
	10：55～11：55	60分	演習	行動上の課題に対応する（行動障害対応モデル） 1	行動記録の説明と活用 冰山モデルの作成 行動の前後関係から考える 構造化の考え方と方法	神田 宏 横浜やまびこの里
	11：55～12：55		休憩			
	12：55～14：55	120分	演習	行動上の課題に対応する（行動障害対応モデル） 2	ストラテジーシートの作成 支援手順書の作成 行動の記録の方法 記録の整理と分析 再アセスメントと手順書の修正	神田 宏 横浜やまびこの里
	14：55～15：05		休憩			
	15：05～16：35	90分	講義	危機対応と虐待防止	危機対応の方法 虐待防止と身体拘束	渡辺 弥美 横浜市健康福祉局 障害企画課
	16：35～16：45		休憩			
	16：45～16：55			チェックシート記入・回収		事務局
	16：55～17：35			チェックシート解説		事務局
	17：35～17：50			修了書授与・閉会		市企画課・事務局

横浜市技能文化会館 会場案内図

■住所

〒231-8575 横浜市中区万代町2丁目4番地7

TEL 045-681-6551

■交通機関

JR京浜東北線・根岸線 関内駅下車 南口から徒歩5分

横浜市営地下鉄ブルーライン（伊勢佐木長者町駅）出口2から徒歩3分



「強度行動障害支援者養成研修（基礎研修・実践研修）」及び
「行動援護従業者養成研修」，「重度訪問介護従業者養成研修行動援護支援課程」
に係るQ & A

（強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）と（実践研修））

問1 「強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）」と「強度行動障害支援者養成研修（実践研修）」とは、どのような関係にあるのか。

（答）

ア 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）は、強度行動障害を有する方への適切な支援を行う職員の人材育成を目的としています。標準カリキュラムとして、講義（6時間）及び演習（6時間）で構成されています（計12時間）。

イ 強度行動障害支援者養成研修（実践研修）は、強度行動障害を有する方への適切な支援計画を作成することが可能な職員の育成を目的としています。標準カリキュラムとして、講義（4時間）及び演習（8時間）で構成されています（計12時間）。

ウ 強度行動障害支援者養成研修（実践研修）の受講対象者は、強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）の修了者及び重度訪問介護従業者養成研修行動援護支援課程の修了者となります。

（強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）と重度訪問介護従業者養成研修行動援護支援課程）

問2 「強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）」と「重度訪問介護従業者養成研修行動援護支援課程」とは、どのような関係にあるのか。

（答）

ア 両研修は、同じカリキュラムであるため、重度訪問介護従業者養成研修行動援護支援課程の修了者は、強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）を修了している取り扱いとなります。また、逆も同様です。

イ したがって、重度訪問介護従業者養成研修行動援護支援課程の修了者は、強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）を受講する必要はありません。

(行動援護従業者養成研修と強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)及び(実践研修))

問3 「行動援護従業者養成研修」を修了しているが、「強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)」及び「強度行動障害支援者養成研修(実践研修)」を受講修了する必要があるか。

(答)

ア 必須ではありません。「行動援護従業者養成研修」は、「強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)」及び「強度行動障害支援者養成研修(実践研修)」と同じカリキュラムとなっているためです。

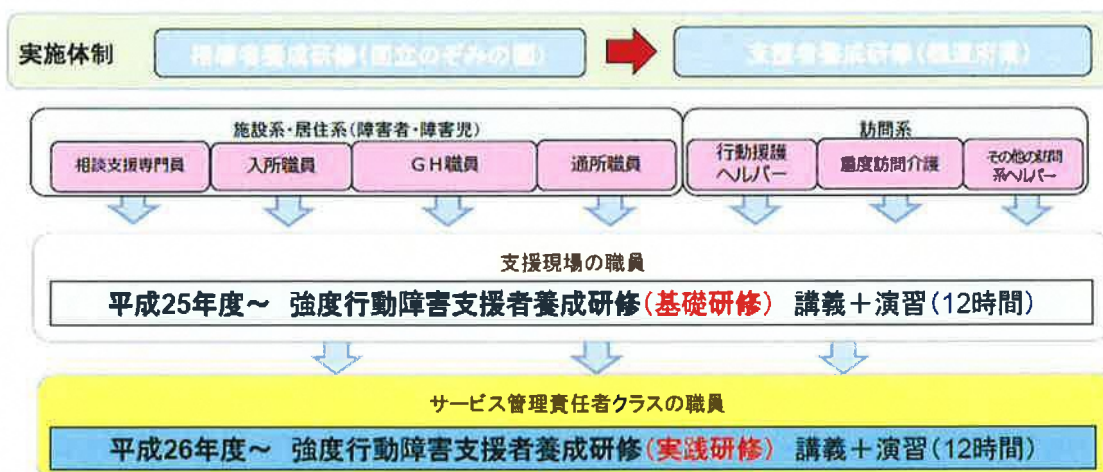
イ ただし、平成26年度以前に「行動援護従業者養成研修」を修了した者については、改めて研修を受講する必要はありませんが、カリキュラムが見直されたことに伴い、行動障害を有する者が重度訪問介護を利用するに当たっては、事前に行動援護従業者等によるアセスメントや環境調整を経る必要があることとされたことから、強度行動障害支援者養成研修(基礎研修及び実践研修)を受講することが望ましいとされています。

(平成27年3月6日厚生労働省障害保健福祉関係主管課長会議資料)

(参考) 強度行動障害を有する者等に対する支援者の人材育成について

強度行動障害を有する者は、自傷、他害行為など、危険を伴う行動を頻回に示すことなどを特徴としており、このため、現状では事業所の受入が困難であったり、受入れ後の不適切な支援により、利用者に対する虐待につながる可能性も懸念されている。

一方で、施設等において適切な支援を行うことにより、他害行為などの危険を伴う行動の回数が減少するなどの支援の有効性も報告されており、強度行動障害に関する体系的な研修が必要とされている



(厚生労働省資料)